

学年

教科等

単元等

活用アプリ

中1-3

情報活用能力

生成AIと私たち「2：生成AIの仕組み」

オクリンクプラス

授業
内容

生成AIの仕組みや、どのような情報を入力してはいけないかを知る

準備：

- ・共有コードを使用してカード（ワーク3枚、提示資料4枚、解説資料2枚、振り返り1枚）を取得する。
- ・みんなのボードに「ワーク①」「ワーク②-1」「ワーク②-2」の3つのボードを用意する。
- ・準備したカード（ワーク3枚、振り返り1枚）を子供たちのマイボードに送信する。

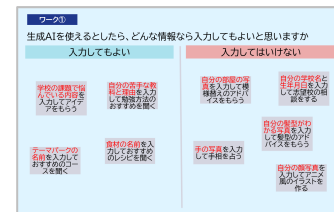
授業の流れ：

1. 各自、マイボードに送られたワーク①のカードを開き、生成AIを使えるとしたら、どんな情報なら入力してもよいと思うかについて考え、「入力してもよい」「入力してはいけない」にそれぞれの情報を分ける。みんなのボード「ワーク①」に送信し、全体でどのように分けたのかや、その理由を意見共有する。
2. 全体で、生成AIに入力した情報はAIの学習に利用されることがあることや、生成AIに入力してはいけない情報について提示資料をもとに先生が説明する。
3. 各自、ワーク②-1、②-2のカードを開き、プロンプトの例で問題があるところを○で囲み、その理由を入力する。グループになり、プロンプト入力例それぞれについて、どんな問題があるか、なぜ問題なのかを話し合う。代表者が話し合いの結果をワーク②-1、②-2にまとめ、完成したものをみんなのボード「ワーク②-1」「ワーク②-2」にそれぞれ送る。
4. 全体で、みんなのボード「ワーク②-1」「ワーク②-2」を見ながら意見交流する。全体で、生成AIに個人情報を入力しないことや、画像に含まれている情報にも気をつけることを先生が解説資料を提示し説明する。
5. 生成AIについて学習したことや、考えたことを各自、振り返りカードに書いて提出BOXに提出する。

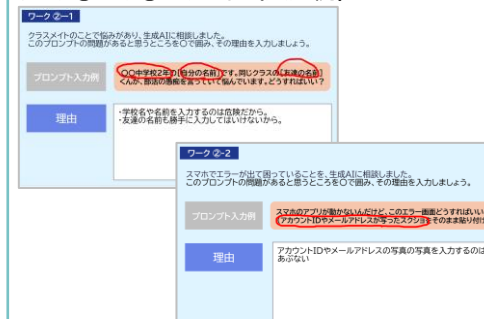
サポート
おすすめ
ポイント

- ・生成AIに入力した情報はどう使われるのかを知ること、入力してよいのかどうか立ち止まって考えることを促します。
- ・生成AIについての事前の学習に「1：生成AIを知る」の事例をお使いいただけます。「3：生成AIの活用とモラル」の事例も併せてご活用ください。

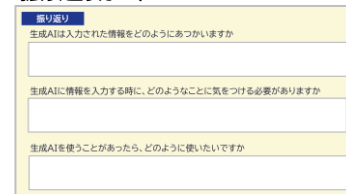
ワーク①（入力例）



ワーク②-1、②-2カード（入力例）



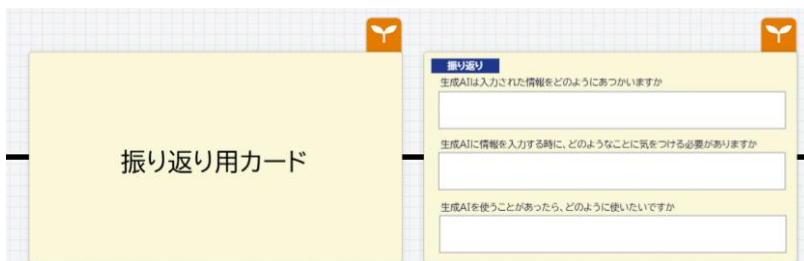
振り返りカード



共有コード

共有コードを入力、または
カメラを起動して
二次元コードを読み込む

pb01M0CSTDZXDCV6QE8WSXZHBH



株式会社ベネッセコーポレーション

ワーク①

生成AIを使えるとしたら、どんな情報なら入力してもよいと思いますか

入力してもよい

学校の課題で悩んでいる内容を
入力してアイデアをもらう

自分の苦手な教科と理由を入力して勉強方法の
おすすめを聞く

テーマパークの名前を入力して
おすすめのコースを聞く

食材の名前を入力して
おすすめのレシピを聞く

部屋の写真に、制服が写っている場合(制服は学校が特定できる情報)

部屋の写真に、飾ってある写真が写っている場合(顔写真などは個人情報)

入力してはいけない

生年月日は個人情報

自分の学校名と生年月日を入力して志望校の相談をする

自分の髪型がわかる写真を入力して髪型のアドバイスをもらう

顔も映っている場合は、個人情報

手の写真を入力して手相を占う

手にも指紋や掌紋など個人の重要な情報(生体情報)が含まれる

自分の顔写真を入力してアニメ風のイラストを作る

顔写真は個人情報